

札幌トレセン大会報告書

2017. 1. 26

札幌4種技術委員会

(裴 閔徳)

1、大会名・日程

第17回 ガチアースカップ

平成28年12月23日～25日

2、参加選手（ ）内は所属チーム

林 修平・白井 卓翔（アンフィニMAKI・FC）木村 晟明・北村 友進（FC DENOVA）藤井 蓮（JSN）鈴木 琉世（クラブフィールズ）戸嶋 咲登（SSS）須田 亮哉・小宮 真輝・小沼 昭人・出間 思努・田代 恵樹・須摩 耀平・大町 岳（北海道コンサドーレ札幌） 計14名（札幌ブロックTC U-11）

3、引率者名

津元 靖史（アンフィニMAKI・FC）裴 閔徳（FC DENOVA）嶋田 雄二（SSS）

4、大会結果

予選リーグ 天候不良による到着遅れにより、交流試合になり、予選無しの4位になりました。

新座片山 3-0 ○ 横河武蔵野 0-4 ●

4位リーグ 鹿島アントラーズ 0-2 ● ヴァンフォーレ甲府 1-3 ●

12チーム中12位

トレーニングマッチ 川崎フロンターレ・横浜Fマリノス・ヴァンフォーレ甲府・Uスポーツ

5、成果と課題

初日に雪の影響で飛行機が飛ばず、二日目も飛行機が送れて14時過ぎにグラウンドに到着してあわただしくゲームに入りました。

例年は前日にTMをこなし翌日大会に参加する事ができましたが、今年はそれができず、大会期間を通して選手たちがピッチサイズや環境に順応するまもなく終わってしまいました。



成果

- ・最終日になってピッチサイズや距離感をつかんでゲームを進める事ができた。
- ・日程変更や状況の変化に選手たちが順応してしっかり生活・行動をとる事ができた。

課題

- ・攻撃において単発的な攻撃が多くゴールまでが遠かった。
ボールを運んだり、積極的に動かす事ができなかった。
選択肢が少なく判断を変えたり、やり直す場面が少なかった。
- ・守備においてボールを奪う事ができなかった。
ファーストディフェンダーのチャレンジが弱かった。
DFのポジショニングが悪く、極端によりすぎたり、残りすぎたりカバーができない事が多かった。
全体的に粘り強く連続性を持った守備ができなかった。
- ・かけひきや判断の不足
相手との駆け引きや状況判断が悪く、後手に回る事が多かった。

最後になりましたが、今回の大会に対して選手派遣にご協力いただいたチーム関係者の皆様、また保護者の皆様に対し感謝申し上げます。今後とも宜しく願いいたします。